



# 決算審査



## 令和5年度一般会計決算

3億6272万2千円の **黒字**

決算状況	
歳入決算額	249億9774万円
歳出決算額	241億2958万5千円
歳入歳出差引額	8億6815万5千円
翌年度に繰り越すべき財源	5億543万3千円
実質収支額	3億6272万2千円
財政調整基金 <sup>※1</sup>	44億9903万9千円
経常収支比率 <sup>※2</sup>	94.9%

- 財政調整基金は前年度より4億4168万2千円増加
- 経常収支比率は前年度より2.0ポイント悪化

- ※1 突発的な災害や緊急を要する経費などに備えるための基金。
- ※2 財政構造の弾力化を判断する指標で、比率が高いと財政に余裕がないことを示します。



## 決算審査は どのように行うの？

### 決算審査 特別委員会設置

前年度の決算について審査を行うため設置される特別委員会です。全議員が委員として付託され、委員長、副委員長を選出し、3日～4日間にわたり審査を行います。

### 審査内容の 把握と質疑

関係部課長、係長に出席を求め、各所管課より決算内容について詳細な説明を受けます。  
委員は、予算が適正に執行されたか、費用に見合った事業効果があったかなど審査を行います。

### 委員間討議

審査の中で出された課題について、委員間で討議を行い、全委員の総意となった意見について委員長が報告します。

# 決算審査特別委員会報告

決算審査特別委員会を設置し、9月3日～6日の4日間にて審査しました。  
委員会で議論し、次の5点に留意するよう意見を出しました。

01

## 敬老事業について

各行政区が抱える負担や様々な課題など実態把握に努めながら、うまく連携を取って進めていただきたい。



02

## 協働のまちづくり推進事業支援金について

補助金の補助対象事業や対象経費などに対して誤解が生じないように、交付規則や支援金ガイドラインの内容について、各校区のまちづくり協議会へ十分に説明し情報共有を行いながら必要とする事業が遂行できるよう、しっかり努めていただきたい。

03

## スポーツ協会補助金について

補助金の在り方などについては、執行部としても様々な課題を認識されているので、今後、改善に向けて前向きに取り組んでいただきたい。



04

## デマンドタクシー導入実証実験事業 「のるーと小郡」について

現状をしっかりと把握した上で、課題を整理分析し、より良いものになっていくよう対応していただきたい。



05

## 主要施策報告書について

今回の決算審査の中で質疑された内容を踏まえて、できるだけ実績数値を記載することを検討していただきたい。

8月21日  
開催

# 10代の主張 高校生との意見交換会

小郡高校・三井高校

テーマ1 /

小郡市(まち)の未来をプロデュース

1  
班

誰もがのびのびと笑顔で暮らせるまち小郡

- 駅にストリートピアノを設置・自然の豊かさを活かすまち
- 老人ホーム、駅、住宅地にお店、遊べる場所を増やす
- 貸自転車、電動キックボードの設置



2  
班

商店街を中心とした賑わいのある学園都市

- 大学や専門学校の誘致やスポーツ大会を開催
- 歴史や癒しを感じるまち(公園・緑・自然)
- 季節行事(春夏秋冬)があるまちづくり



3  
班

知る・体験・働く・住むが連動した魅力的な取組みで  
子育てしやすい街

- 写真映えスポットを設置し映画撮影地としてピーアール
- カフェ飲食店など働くための企業誘致
- 出産支援が充実したまち



市長に意見書を提出

井上議長、田中委員長から加地市長へ  
高校生がまとめた意見書を提出しました。



☆2つのテーマで6班に分かれてワークショップ形式で意見交換をしました。

☆まとめは、各班ごとに議場で発表!!

テーマ2/

どのようにして若者を増やすか

4班

若者が集まる場所や子育て環境を充実

- 人気ブランド・飲食店など流行している施設の充実
- 治安を良くし、学割が使えるお店が欲しい
- 可愛い制服を着たくなるような学校にして欲しい



5班

商業施設の充実やイベント開催で若者へのアピール

- コンサート会場をつくり、イベント等の開催
- スタンプラリーで観光アピール
- 空き家空き地を活用（子どもの遊び場など子育て支援）



6班

引っ越してきたくなくなるようなまちづくり

- 3才未満の保育料や給食費の無償化
- 結婚したい人への支援
- 年齢制限を設けずに農業する人を育てる機関や施設



所管事務調査（都市経済常任委員会）

令和6年8月5日、都市経済常任委員会の所管事務調査として、一般社団法人小郡市観光協会の松本会長をはじめ役員及び事務局の方々と意見交換を実施した。

冒頭、観光協会の取組みが紹介され、その後には観光協会目線での課題・疑問について意見交換を行った。課題として「小郡市の観光をどのように発展させていくのか」が大変難しいとして意見が出された。また、「市・商工会・青年会議所・各地域主催行事等」への入り込み観光客数増加のために、二次交通機関（鉄道駅からの移動手段）を確保して欲しいとの要望がなされた。

今後、都市経済常任委員会でも引き続き調査し、提案を行ってみたい。



市民の皆様のおかげで  
**「議会だより200号」**

これからも市民の皆様に分かりやすく、親しみやすい情報をお届けします。



**第50号**  
 昭和62年  
 5月15日

- バブル景気
- マイケルジャクソン来日



**第1号**  
 昭和48年  
 5月1日

- 第一次オイルショック
- ベトナム和平協定



**第150号**  
 平成24年  
 5月1日

- ロンドン五輪で金メダルラッシュ
- 東京スカイツリー竣工



**第100号**  
 平成11年  
 11月1日

- iモード開始
- 地域振興券発行